

が ん ね 岸根ぐり

肥えた水はけの良い土に落ちる
ぽってりふくよかな実



「栗が笑つとるよ」

そんな言葉が飛び交う。美和町の岸根ぐりのい^いが^がが開き、豊かな実をまさに地面に落とそうとしている状態を表す合言葉。待ちに待った収穫の時だ。

岸根ぐりの最大の魅力は大きさ。他の品種と比較するとその大きさは目を見張るものがある。一口で頬張り切れないほどの実は甘く、大変濃厚だ。

「よその人からよお褒められるけえ嬉しいんよ」目を細めながら宝物を拾うように大きな一粒を拾う。全国の栗品評会で度々表彰されてきた岸根ぐりを育てる松田さんに話を聞いた。

「ここは栗を栽培するには最高の場所じゃけえ」松田さんは言う。岸根ぐりが大きく育つ理由は大きく分けて2つある。赤土が混じった養分を多く含む土と、保水力を持ちながらも適度に水はけのよい地形。まさに適地適作だ。

最高の環境に加え、松田さんは栗を育てる手間を惜しまない。養分が行き届くように広大な栗畑の草刈りを年5回行い、肥料を与える。そして一番重要なのは木に満遍なく日光が当たるようにするための真冬の剪定^{せんてい}作業だ。斜面で行う作業は足腰に負担がかかり重労働そのものだが、松田さんは一つ一

つ丁寧^{ていねい}に手を抜かずに行う。そうして収穫されるのが岸根ぐりだから、やはり宝物を拾うような気持ちになる。

本格的に栗の栽培に打ち込んだのは定年退職してから。最初の3年間は先輩の栗農家に通い詰めて学び、その後は何年も試行錯誤しながら一番おいしく、一番大きく数多くの栗が育つ方法を模索する日々が続いた。その後美和町くり生産組合の組合長に就任し、栗農家の指導や美和町全体での岸根ぐりの生産量拡大のために奔走してきた。

「ありがたいことに全国から注文があつて生産が追いつかんくらい。地元の人はもちろん、もつとたくさんの人に食べてもらいたいねえ」

築いてきた栗栽培のノウハウを惜しみなく伝え、岸根ぐりの担い手を育てることが自分の使命であり夢だと笑って松田さんは話してくれた。



岸根ぐり農家
松田吉彦さん

魅力ある特産品を

「岩国ブランド」に――

岩国市は取り組みます

農工商振興課 ☎ 2951110